

# あいの助密書

## あいの助 勝手に



～愛・逢・一～の助

お陰様で第12号  
発行所 猪木酸素  
社 猪木酸素  
有限会社 猪木酸素  
書店 フサポートあいの助  
山善業所

### 本屋大賞2021（無許可）

地域の皆様の暮らしを「陰ながらつとまえる」をモットーに日々活動中の有限会社猪木酸素玉島店フサポートあいの助です。十月になっても真夏のような暑さが続き秋という季節はどこかに消えてしまったのでは？

と思える毎日ですが、自然の摂理は着実に時を刻んでいくようで、やはり秋の夜は長いのです。そこで、今月号は「秋の夜長に本を読もうーあいの助スタンプが勧めるこの一冊。あいの助 勝手に本屋大賞」と題しまして進行したいと思います。

定光お勧めの一冊 小池一夫著「人生の結論」 毎年年末に新刊旧刊に拘らずその年に読んだ本の中で最も感動した一冊

を決めるのが秘かな愉しみなのですが、今年は年末を待たずしてこの本で決まり。一昨年逝去された言わずと知れた大漫画原作者ですが、人間通の作者がツイッターに残した含蓄に溢れた珠玉の言葉の集大成です。どこから読んでもその深い知性と人間愛に唸ります。



田中兄お勧めの一冊 私のオススメの本は、植西聰の「あなたを変えざる運命の口ぐせ」という本です。この本は私が十数年くらい前に出会った本です。幸せになりたいなら、口ぐせを変えましょう。言葉はその人の心とつながっています。

口ぐせを変えようと、心が変わります。心が変わると、行動が変わります。人生が変わります。という考えのもと、口ぐせにした方がいい言葉がたくさん書かれています。後ろ向きな考えの時や落ち込んだ時にこの本を読むと前向きになれる。そして、この本に書かれている言葉を実際に口に出すと、本当に元氣になれる。なかなか自分を変えることが難しいですが、立ち止まったり後ろ向きになりかけた時にはこの本を読んで元氣に前向きになってほしいと思います。オススメさせて頂きました。

より涼しく使用出来るものや、エアセルの谷間に熱線を配して「冷え対策」を施した商品がございます。



れますが、以前は夏場冬場に頭を抱える難題が持ち上がっていました。それは、素材であるウレタンフォームが風を通さないため、夏は

暑過ぎ、また、除圧効果確保の為、電気敷毛布を敷けないため、冬は寒過ぎるものだったのです。現在は、マットレス内に空気の流動を起して

田中弟お勧めの一冊 村上龍著「五分後の世界」 箱根でシヨキングしていたはずの主人公が、ふと気が付くとそこは五分のずれで現れた、もうひとつの時間軸の世界の日本だった。その世界の日本は第二次世界大戦終結後も民族の誇りを失わずゲリラ戦を繰り広げていて・・・という物語です。ディープな内容でしたが中学生の時にハマって一気に完読した本です。大人になって改めて読んでみたいと思います。



杉山お勧めの一冊 星新一著「シヨートシヨート」シリーズ 一話を数ページで読み切れる、短編小説です。奇想天外で、ユーモラスで、ちよつとブラックで、とにかく面白く・・・「初めて読んだ短編小説は星新一作品だった」という方も多そうですね。実は私は読んだことがありません、すみません。大学生の息子が中学生の頃、星新一の世界にはまり、学校の図書館でいつもこのシリーズを借りてきました。それを一番喜んでくれたのが当時七十代の母です。簡単に読めて面白いと言ってく、さらには「ちよつと長めのシヨートシヨート」シリーズもあると息子にリクエストしていました。ばあばと孫の懐かしい思い出の本です。



山下お勧めの一冊 私の勧めの一冊は、東野圭吾さんと言えはミステリー・サスペンス作家として有名ですが、そんな東野圭吾さんが書かれた短編小説「怪笑小説」です。社会一般、日常的な場面での人間の様子、心の中をちよつと冷笑的な視点で表現していて、一遍、一遍の終わりがまた怪笑の落ちで締めくくられている読んだ後にまさに苦笑い、怪笑の一冊です。

最後に大好きな、ココ・シャネルの名言を添えて締めくくります。

功成り名を遂げた彼女が、ホテルリッツで暮らしている頃に残した言葉。

「私のような大学も出ていない年をとった無知な女でも、まだ道端に咲いている花の名前を一日に一つくらいは覚えることができる。一つ名前を知れば、世界の謎が一つ解けたことになる。その分だけ人生と世界は単純に、わかりやすくなっていく。だから人生は素晴らしいし、生きるのは楽しくて」

まことに至言。

### 逸品紹介

ベッド上で長い時間を過ごされる方で、床ずれリスクの高い方はよく除圧効果の高いエアーマットをご利用ください。